

新年のごあいさつ



小郡市長
平安正知

新年あけましておめでとうござい
ます。

平成24年の輝かしい新春を迎えるにあたりお慶び申し上げます。また、平素より市政に対する温かいご理解とご協力を賜わりまして、厚くお礼申し上げます。

さて昨年の3月11日に、国内観測史上最大のマグニチュード9・0という巨大地震によって発生した津波は、東北地方を中心に死者・行方不明者が2万人近くにのぼる甚大な被害を発生させました。

私自身も5月に現地に赴き、被災者の方々、首長、行政職員、自衛隊の皆さんから貴重なお話やご意見を伺うことにより、①大規模災害発生時の初動体制のあり方や行政機能の確保、②災害発生時の自治体首長の果たすべき役割やリーダーシップの發揮の仕方などについて学びました。

また、「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを基本に、平時から

地域の住民の皆さんが、互いに協力し合いながら、防災活動に組織的に取り組んでいく自主防災活動の必要性を感じたところです。

昨年3月に策定しました第5次小郡市総合振興計画（平成23年度から10年間の長期計画）では、基本理念を「市民との協働によるまちづくり」と定めています。

本市においても、新たな市民との協働による地域自治のあり方として、小郡市独自の「コミュニティ分権によるまちづくり」を目指してまいります。

さらに、この第5次総合振興計画に則り、安全で快適な都市機能・基础设施づくり、豊かな暮らしを支える活力ある産業づくり、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくり、やさしさあふれる健康と福祉づくり、生きる力を育む教育と地域文化づくりを、昨年に引き続きまいります。

今年は、ロンドンで夏季オリンピックが開催されます。古代ギリシャ

のオリンピアの祭典をもとに、1896年にアテネで開催されてから、今年は第30回の記念すべき大会です。今年も多くの日本人の活躍を期待するとともに、私もアスリート達のように、ひたむきに市政運営に取り組んでまいりたいと思っているところでございます。

そして小郡市も今年、市制施行40年という節目の年を迎えます。空飛ぶ龍の如く、小郡市の将来像「人が輝き、笑顔あふれる快適緑園都市・おごおり」を目指して、飛躍の年にしたいと思います。

どうか、今後とも、市民の皆様をはじめ、市議会、関係機関・団体などの多くの方々の変わらぬご理解とご協力をお願ひ申し上げます。

終わりに、今年が皆様にとりまして、素晴らしい年となりますことを心よりお祈り申し上げ、年頭のごいさつといたします。